

一般社団法人 日本健康心理学会  
第 35 回大会のご案内＜1 号通信＞

「あたりまえ」を問い直すーwell-being 再考ー

2022 年 11 月 19(土)・20 日(日) 東北学院大学土樋キャンパス

## ご挨拶

新型コロナウイルス感染症がようやく落ち着きはじめ、社会・経済的な活動も徐々に回復傾向に向かうと思われた矢先、このところはさらに新たな株による第 7 波が懸念されているようです。そのような中ではありますが、2022 年度の日本健康心理学会第 35 回大会は、11 月 19 日(土)・20 日(日)の 2 日間、JR 仙台駅からほど近い東北学院大学土樋キャンパスで開催することとなりました。

ご記憶の方もおられるかと思いますが、実は 2020 年度の第 33 回大会も、当初は本学でお引き受けする予定で準備を始めておりました。しかし折からの新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に伴い、急遽、理事会主催のオンライン開催となりました。このたびは、感染対策に十分配慮しながら、あらためて本学で対面を基本とする開催を予定しております。もちろん、今後の感染状況に応じてオンライン開催に切り替える可能性も残っていますが、ぜひ会員の皆様が 3 年ぶりの対面による交流を深めていただけるよう願っております。

今回の大会テーマは、「『あたりまえ』を問い直すーwell-being 再考ー」としました。2 年以上に及ぶコロナ禍のもとで、テレワークの普及により従来の仕事の形態が変えられることに気づかされ、またエッセンシャルワーカーによる仕事の重要性が認識されるなど、私どものこれまでの日常生活が見直され、以前は「あたりまえ」だった事柄について、あらためて考える機会が生じました。また、たとえばオープンダイアログや当事者研究など、従来の治療や支援とは異なるアプローチが注目され、さらにポジティブ心理学においては mental health を mental illness とは独立した直交軸として考えるなど、well-being をめぐるとらえ方にも新たな視点が出てきているように感じます。

このような背景から設定したテーマに関する基調講演は、東畑開人先生(白金高輪カウンセリングルーム)に「複数の健康ーwell-being と ill-being」と題してお話をいただきます。また特別講演として、辻一郎先生(東北大学医学部)に「ポジティブ・サイコロジーと健康寿命」と題する、人生 100 年時代にふさわしいお話をいただきます。

今大会はポスター発表も含めて対面開催を基本としますが、現地参加が難しい会員の方には、これら 2 件の講演と各種シンポジウムについては、録画をオンデマンド視聴していただける参加方法も設定する予定です。なお、せっかくの機会ではありますが、感染対策のため懇親会は開催いたしません。今後、ML などで仙台の名所・名店等をご紹介していきたいと存じますので、どうぞお好きな場所で少人数での交流をお楽しみください。

仙台での開催は、2001 年の第 14 回大会以来、実に 21 年ぶりです。11 月下旬の仙台は晩秋から初冬の装いとなりますが、料理やお酒、温泉等で身も心も温まり、研究交流にとどまらず、健康心理学をご自身でぜひ実践していただければと思います。多数の皆様のご参加をお待ちしております！

日本健康心理学会第 35 回大会準備委員会 委員長 堀毛裕子

## I 会期・会場

1. 会期 2022 年(令和 4 年)11 月 19 日(土)・20 日(日)
2. 会場 東北学院大学土樋キャンパス ホーイ記念館  
〒980-8511 仙台市青葉区土樋1丁目 3-1  
※アクセス(大会ホームページにマップ等をリンクしています)
  - ① 地下鉄仙台駅より富沢駅行乗車、南北線「五橋駅」または「愛宕橋駅」下車徒歩 5 分
  - ② 仙台駅前より長町方面バスにて「福祉プラザ前」で下車徒歩 5 分
- ③ JR「仙台駅」から徒歩約 20 分

## II 内容 ※詳細は大会ホームページをご確認ください(末尾に URL を記載しております)。

### <学会および大会準備委員会による企画>

#### 1. 総会・集会

大会2日目の11月20日(日)のお昼の時間帯に、会員集会(正会員と準会員のみ対象)を開催します。優秀な論文に贈られる「本明記念賞」の表彰式と受賞者による講演も行われます。

#### 2. 講演

基調講演 大会1日目 11月19日(土) 13:30-15:00

東畑 開人先生(白金高輪カウンセリングルーム主宰)「複数の健康 ―well-being と ill-being」

特別講演 大会2日目 11月20日(日) 10:30-12:00

辻 一郎先生(東北大学医学部 教授)「ポジティブ・サイコロジーと健康寿命」

#### 3. シンポジウム

各種委員会によるシンポジウムを計画しています。内容が決定次第、大会HPでお知らせします。

#### 4. 研修会

現在企画中です。内容が決定次第、大会HPでお知らせします。

#### 5. 認定健康心理士総会ならびに健康心理学研修会

認定健康心理士の方のための企画です。

#### 6. 懇親会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催いたしません。

### <会員による発表>

#### 1. 一般研究発表

現地でのポスター発表形式のみです。「大会発表論文集(WEB公開)への論文掲載」と「当日の発表」の2条件を満たすことが公式発表の要件となります。

#### 2. 会員企画シンポジウム

日本健康心理学会会員の自主企画によるシンポジウムです。一般研究発表と同様、論文集原稿を事前に提出していただきます。現地あるいは事前収録によるオンデマンド配信のどちらにされるか希望をとらせていただく予定です。なお、現地を希望された場合であっても、会場の都合や他のシンポジウムとの関係で、事前収録によるオンデマンド配信となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

## III 大会関連企画

#### 1. 発表賞

一般研究発表の中から、所定の基準により優秀な発表を選び、表彰します。

#### 2. <ヤングヘルスサイコジストの会>企画 若手シンポジウム

大会前日(18日17時開始予定)に、有志による「ヤングヘルスサイコジストの会」が開催されます。会員企画シンポジウムと同様の自主企画で、参加に年齢制限はなく、参加費は無料です。

## IV 一般研究発表、会員企画シンポジウムの申し込みについて

#### 1. 発表者、シンポジウム企画者、シンポジストの資格

- (1) 一般研究発表の筆頭発表者、およびシンポジウムの企画者は、申込時に正会員であることが必要です。なお、筆頭発表者となるのは1人1回に限ります。
- (2) 連名発表者は、正会員でなくてもかまいません。
- (3) シンポジストは、申込時には正会員であることを必須としませんが、大会時には原則として正会員であることが必要です。
- (4) 日本健康心理学会準会員は、筆頭発表者が正会員の発表において、大会準備委員会の承認を経ることなく連名発表者となることができます。ただし、準会員はシンポジストの資格はありません。
- (5) 日本健康心理学会学生会員(学部生)は、発表者およびシンポジストになることはできません。

- (6) 現在は正会員でない方が筆頭発表者ないしシンポジウム企画者になることを希望される場合は、8月18日(木)までに、学会事務局へ正会員になるための申請をしてください。
- (7) 現在正会員であり、発表者、並びにシンポジウム企画者とシンポジストになられる予定の方は、2022年度の年会費を学会へ納入済みであることが必要です。
- (8) 筆頭発表者、シンポジウム企画者、シンポジストとして申し込みをされた方は、いずれも大会参加費を10月7日(金)までにお支払いください。

## 2. 申し込み方法

- (1) 大会ホームページにて受付を行います。  
※受付はすべてインターネット経由とし、FAXや郵送等による受付は行いません。
- (2) 一般研究発表と会員企画シンポジウムは、8月19日(金)までにお申し込みください。

## 3. 発表論文集原稿

- (1) 原稿は、別紙の「発表論文集原稿作成投稿要領」をご参照の上、作成してください。PDF形式のみでの受付となります。なお、大会ホームページからテンプレートファイルをダウンロードできますのでご活用ください。
- (2) 原稿受付は、大会ホームページで行います。8月19日(金)までに提出してください。

## V 大会への事前参加申込について

発表者や演者等以外の方も、大会に事前参加申込（事前登録）することができます。大会ホームページにて、9月30日(金)まで受付を行います。なお、費用の払い込み期限は10月7日(金)です。会員価格で事前参加申込するためには、9月20日(火)までに、学会事務局へ会員になるための申請をしてください。

## VI 申し込み・払い込み等の期限（一覧）

◇ 一般研究発表への申込と原稿投稿の期限	<u>7月26日(火)～8月19日(金)</u>
◇ 日本健康心理学会会員企画シンポジウムへの申込と原稿投稿期限	<u>7月26日(火)～8月19日(金)</u>
◇ 大会参加への事前申込の期限	<u>7月26日(火)～9月30日(金)</u>
◇ 事前参加申込者の参加費払込期限	<u>9月1日(木)～10月7日(金)</u>
◇ 通常（当日）参加の払込期限	<u>11月8日(火)～11月20日(日)</u>

※注：10月1日（土）以降の申し込みは通常参加となり、参加申込は11月8日（火）から大会当日まで受け付けます（クレジットカード決済のみ）。

※注：振込による事前参加費の納入は9月1日（木）より開始いたします。事前参加登録において、振込決済を選択された方へ、後日、振込先の口座情報をメールにてご案内させていただきます。

※注：振込による参加費納入は事前参加のみとなり、通常参加費はクレジットカード決済のみとなります。また感染拡大防止の観点から会場での現金による受付は行っておりません。ご注意ください。

	事前参加登録	通常参加（当日参加）
受付期間	7月26日（火）～9月30日（金）	11月8日（火）～11月20日（日）
参加費	事前割引料金	通常料金
納入方法	振込またはクレジットカード決済	クレジットカード決済のみ
プログラム集	事前発送（10月下旬予定）	会場受付にてお渡し
参加証	印字してご用意（事前発送）	会場受付にてお渡し（ご自身で記入）
受付	そのまま会場までお進みください	必ず受付にお越しください

## Ⅶ 諸費用について

大会にかかわる諸費用は、以下の一覧表のとおりです。

費用	会員・非会員等の種別	事前参加費	通常参加費
		(9月30日まで)	(11月8日から)
大会参加費	会員・準会員(院生を含む)・賛助会員	7,000円	8,000円
	学生会員(学部生)	1,000円	1,000円
	非会員(院生を含む)	8,000円	9,000円
	非会員(学部生)	-	1,000円

注1:発表論文集はWEB上での閲覧として無料化します。冊子体またはCDでの論文集は作成しませんのでご了承ください。

- (1) 事前参加申込(9月30日(金)まで)をされた方は、必ず10月7日(金)までに払込をお済ませください。払い込まれた諸費用は、申込者のご都合による参加取り消し・発表取り消し等の場合、如何なる理由でも返却できませんので、ご了承ください(※会員企画シンポジウム不採択の場合はこの限りではありません)。

新型コロナウイルスの感染拡大など、不可抗力、またはやむを得ない事由により本学会の開催期間及び開催方法の変更、または開催の中止等を行う場合もあります。実施形式の変更、延期や中止になった場合の諸費用の扱いについては、理事会と相談したうえで、ご連絡申し上げます。

- (2) 発表に対する費用はかかりませんが、筆頭発表者、シンポジウム企画者、シンポジストの方は、大会参加への事前申込みと参加費の事前納入が必要です。
- (3) 払込取扱票の送付はいたしません。お振込み先は、9月以降、参加登録を完了された方へメールにてお知らせいたします。また、通信欄には、申込番号(RG0000)を明記してください。
- (4) 払込受領票は、大会当日まで大切に保管してください。事前申込で諸費用のご納入が確認できた方に、参加証とプログラム集を10月下旬に事前送付いたします。当日参加費申込の方へは、大会当日に受付にて準備します。

## Ⅷ 今後の予定

- (1) プログラム集の発送:10月下旬を予定しております。Web上での公開は9月下旬を予定しております。
- (2) 発表論文集について:今大会では発表論文集はWEB上での閲覧のみとして、冊子体またはCDでの論文集は作成しませんのでご注意ください。11月上旬の公開を予定しています。必要な方は、ダウンロードと印刷等をお願いいたします。

## Ⅸ 大会に関する情報、およびお問い合わせ先

### 1. 大会ホームページ

大会の最新情報は、ホームページにて随時お知らせいたします。また、大会参加・発表申し込みや発表論文集原稿の投稿受付についても、すべて大会ホームページを通じて行います。

<https://conference.wdc-jp.com/jahp/35th/>

### 2. 日本健康心理学会第35回大会に関するお問い合わせ先

大会ヘルプデスクを設けています。ご不明な点がございましたら、どうぞお問い合わせください。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

日本健康心理学会第35回大会ヘルプデスク

E-mail: jahp35-desk@conf.bunken.co.jp

※お問い合わせは、E-mailにてお願いいたします。

以上

# 日本健康心理学会 第35回大会 発表論文集 原稿作成投稿要領

## I 発表の形式と投稿方法

### 1. 一般研究発表および会員企画シンポジウム

#### 1) 投稿方法

大会ホームページ上の発表登録システムにて、ファイルのアップロードによる投稿となります。投稿の手順は、大会ホームページ(<https://conference.wdc-jp.com/jahp/35th/>)にてご案内いたします。

#### 2) 投稿形式

投稿時のファイル形式はPDF形式のみでの受付となります。大会ホームページ上でのPDF変換用システムは本大会から使用できなくなりました。各自でPDFファイルを作成してください。

#### 3) 投稿期限

2022年8月19日(金)

## II 一般研究発表および会員企画シンポジウムの原稿ファイル作成方法

### 1. 論文の構成

- 1) 原則として、目的、方法、結果、考察などの項目に分けて記述し、科学論文の要件を満たしてください。
- 2) 発表の際には利益相反の開示が義務づけられています。利益相反とは、研究によって社会に還元される公的な利益、および産学連携等によって生じる私的利益、これら二つの利益が研究者個人の中に生じる状態を指します。利益相反の状態自体は問題ありませんが、研究を支障なく進めるために情報開示を行う必要があります。利益相反関係にある企業の有無および有の場合は企業名を明記するようお願い致します(例1. 利益相反開示:発表に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業などはありません/例2. 利益相反開示:発表に関連し、〇〇製薬会社と利益相反関係にあります)。
- 3) 所属する組織および研究が行われる組織の倫理委員会等による承認、データの開示と保管において個人情報の保護に適切な配慮がなされているか、研究を進める上で研究協力者の同意が得られているか、個人を特定できないよう十分にプライバシーが守られているか等の倫理的配慮についても記載をお願いします。

### 2. 用紙と作成方法

- 1) 原稿はワードプロセッサなどを使用して、A4判用紙1枚にまとめて作成してください。
- 2) 作成にあたっては、ご自身の責任で個人情報の保護、知的財産権の扱いに十分ご留意ください。
- 3) 大会ホームページに原稿作成用テンプレートファイルを用意する予定ですので、ダウンロードしてご利用ください。

### 3. 書式・レイアウト (p.7 図1参照)

- 1) 用紙は縦置き、文面は横書きです。
- 2) 上下に20mm、左右に16mmの余白を取ってください。
- 3) 1行目にタイトル、2行目に発表者氏名・所属、3行目にキーワード(3語~5語)を書いてください。
- 4) 発表者が複数名の場合は、責任発表者の氏名の前に○印をつけてください。この部分が全体の1/5程度に収まるようでしたら、行数が増減しても構いません。
- 5) 本文は2段組で、1段あたり27文字×40行程度を基本としますが、文字数・行数は適宜調節してください。ただし、上下左右の余白サイズは変更しないでください。
- 6) 本文の最後の行に、発表者全員の氏名をローマ字で記入してください(例. KENSHIN Taro)。

- 7) フォントサイズはタイトルが18ポイント、氏名・所属が10.5ポイント、キーワードと本文は9ポイントを基本とします。
- 8) フォントは本文のみ「MS 明朝体」とし、タイトル、氏名・所属、キーワード、中央大見出しの目的・方法・結果・考察については、「MS ゴシック体」を基本とします。
- 9) 原稿には、ページ番号、ヘッダー、フッターなどを挿入しないでください。

### Ⅲ シンポジウムの原稿作成要領

#### 1. 用紙と作成方法 (p.8 図2, 3参照)

- 1) 原稿はワードプロセッサなどを使用して作成してください。
- 2) 企画者は、シンポジウムの趣旨、および各話題提供者の発表内容について、A4判用紙2枚にまとめてください。
- 3) 話題提供者の発表内容ごとに、氏名、発表タイトル、発表内容を載せてください。
- 4) 作成にあたっては、ご自身の責任において個人情報の保護、知的財産権の扱いに十分ご留意ください。
- 5) 大会ホームページに原稿作成用テンプレートファイルを用意する予定ですので、ダウンロードしてご利用ください。

#### 2. 書式・レイアウト (p.8 図2, 3参照)

- 1) 用紙は縦置き、文面は横書きです。
- 2) 上下に20mm、左右に16mmの余白を取ってください。
- 3) 本文は2段組で、1段あたり27文字×40行程度を基本としますが、文字数・行数は適宜調節してください。ただし、上下左右の余白サイズは変更しないでください。
- 4) 1枚目の1行目にシンポジウム名、2行目以降に企画者、司会者、話題提供者、指定討論者の氏名・所属を載せてください。
- 5) 本文の最後の行に、シンポジスト全員の氏名をローマ字で記入してください  
(例. KENSHIN Taro)。
- 6) フォントサイズはタイトルが18ポイント、氏名・所属が10.5ポイント、本文は9ポイントを基本とします。
- 7) フォントは企画趣旨と話題提供の内容のみ「MS 明朝体」とし、タイトル、企画者・司会者・話題提供者・指定討論者の氏名および所属、横大見出しの企画趣旨、話題提供者・氏名については、「MS ゴシック体」を基本とします。
- 8) 原稿には、ページ番号、ヘッダー、フッターなどを挿入しないでください。

図1. 発表論文集原稿の基本形式

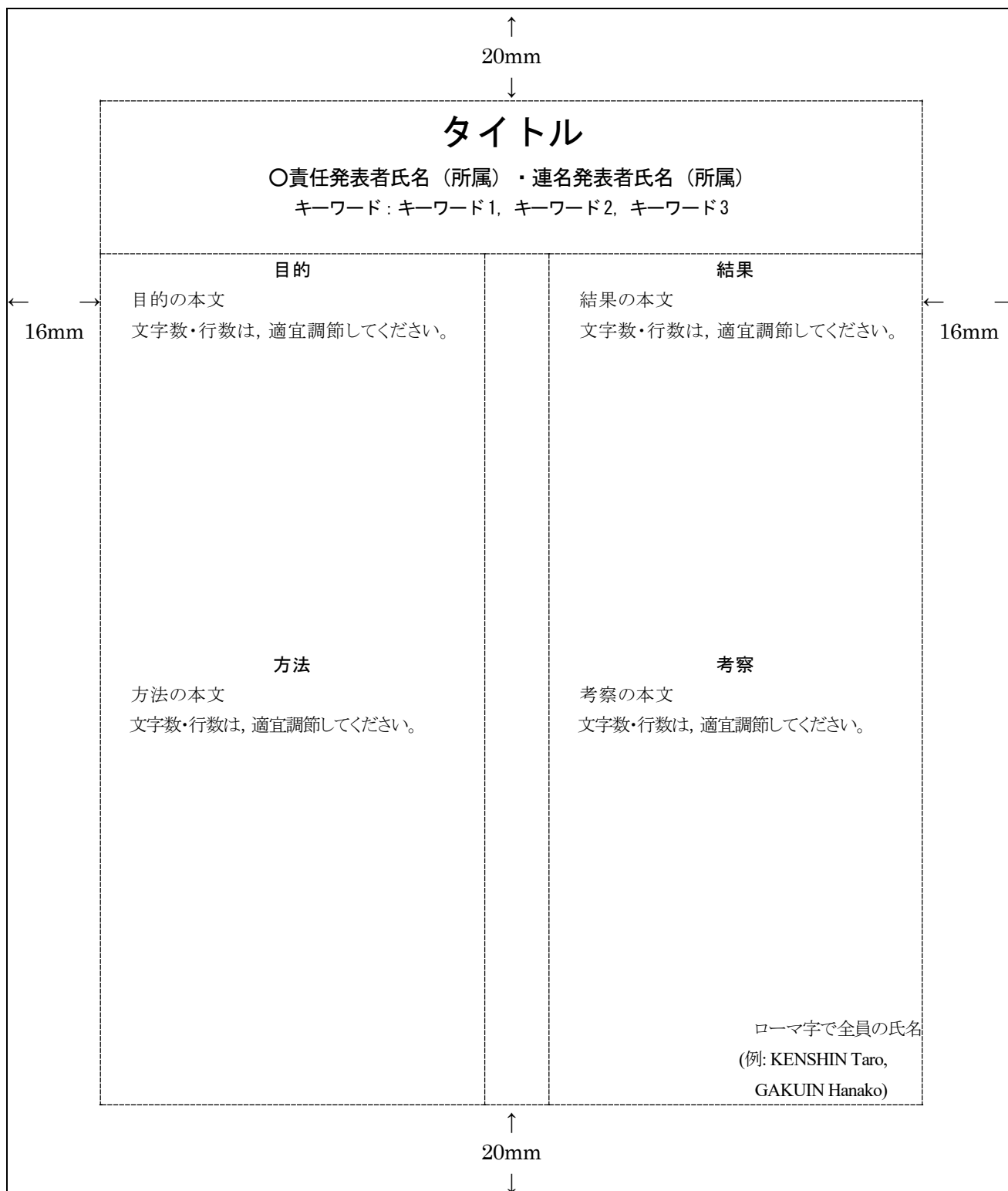


図 2. シンポジウムの基本形式(1 枚目)

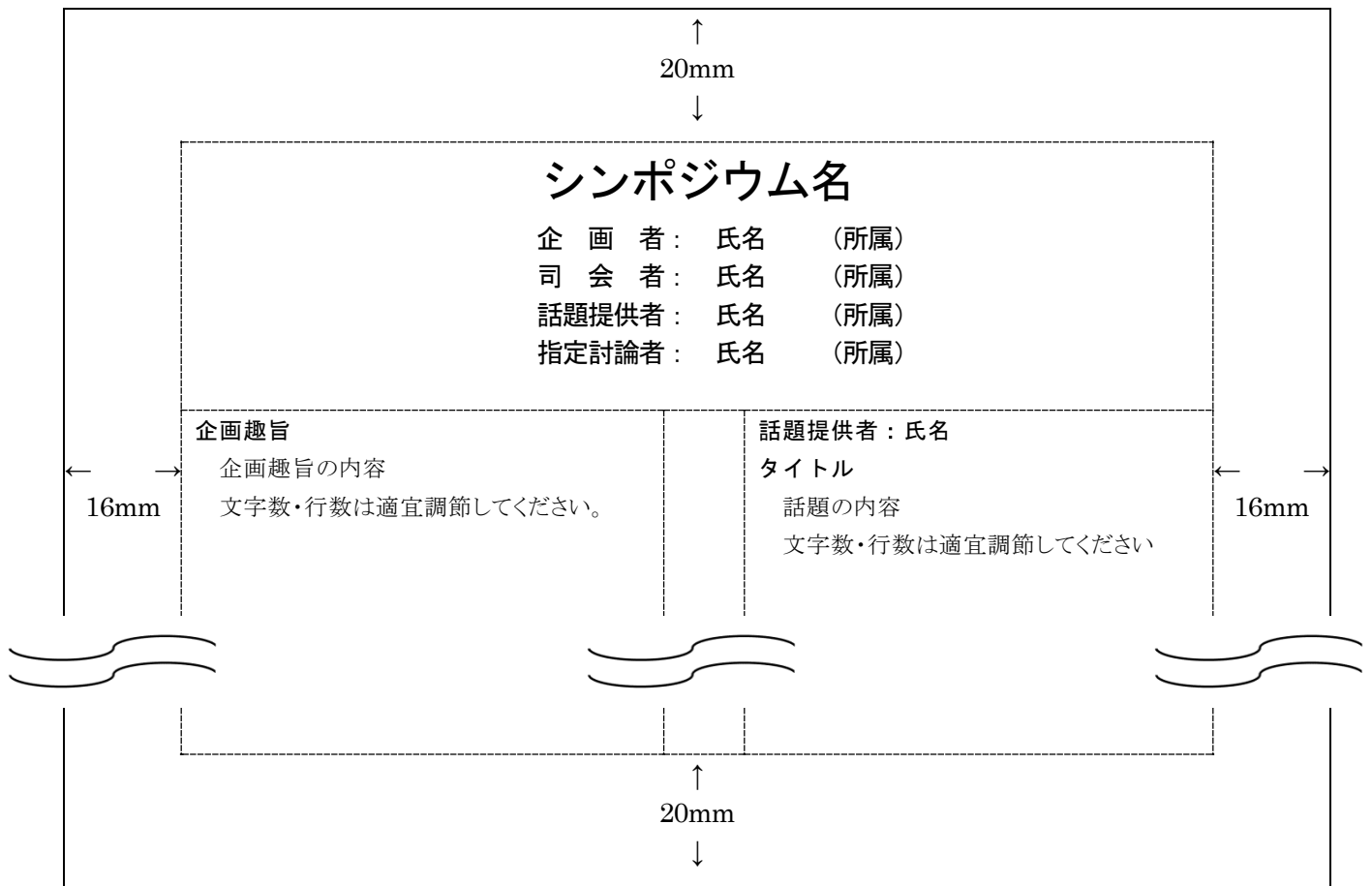


図 3. シンポジウムの基本形式(2 枚目)

